

「記述」問題解答例

①

科学技術の発展の恩恵と問題点について、インターネットの買い物为例に取り上げ、論じたい。

ネットの普及は、私たちの生活に多くの恩恵をもたらした。利便性の典型的な例が買い物である。今は、ネットを通して、家にいながらにして世界中の商品の情報を知り、簡単に注文、決済ができる。そして、商品の入手までごく短時間しかかからない。買い物に行くのが難しい多忙な人にとって、これは、とても便利だ。

しかし、この利便性の裏には、危険もある。決済や配送のためには、クレジットカードの番号や住所等、個人の重要な情報を、ネットを通してやり取りすることになる。この個人情報を盗み出し、悪用する犯罪が後を絶たない。また、パソコンの画面のボタンを押すだけで買い物ができるため、お金を使うという実感が、店で紙幣を出して買うときよりも薄くなる。この気軽さが、お金の使い過ぎにつながる可能性もある。

このネットの例のように、科学技術は、私たちにとって良い面だけでなく、危険な面も併せ持つものである。科学技術の恩恵を受ける側は、常にそれを意識しておく必要がある。(459文字)

②

競争の長所と短所について、競技スポーツという視点から考えてみたい。

競技スポーツには、過酷な競争と、その結果としての勝敗がある。

そのため、長所としては、勝つために努力を重ねることで競技力が高まるということが挙げられる。器械体操を例とすれば、もともと技の難度はA～Cの3段階だった。しかし、難度の高い技であるほど高い得点が得られるため、より高度な技が開発されるようになった。それに伴って、より難しいD難度、E難度が導入され、現在ではG難度までである。この様に、競争することによって、以前には考えられなかったほどに技が高度化してきた。

一方、短所としては、勝つためならどんなことでもするという風潮が生まれることが挙げられる。例えば、選手に心身の健康を害するほどの練習を課す、ドーピング行為や違法行為ぎりぎりのことをさせるといったことである。あるいは、過酷な競争そのものが大きなストレスとなり選手の精神をむしばむこともある。

このように、競争することは技術の向上につながるが、人間を苦しめる要因にもなると言える。(451文字)